

2026 年 7 月 14 日

フューチャーアーキテクト株式会社
エムオーエアロジスティックス株式会社

フューチャーアーキテクト、エムオーエアロジスティックスの 航空貨物輸出業務に「Future EdgeAI」を導入し現場業務を省力化 データ自動連携により情報共有のタイムラグを解消

フューチャーアーキテクト株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:齋藤洋平、以下「フューチャーアーキテクト」)とエムオーエアロジスティックス株式会社(本社:千葉県成田市、代表取締役社長:野村一彦、以下「エムオーエアロジスティックス」)は、フューチャーアーキテクトが独自開発した OCR(Optical Character Recognition:光学文字認識)ソリューション「Future EdgeAI」※¹ をエムオーエアロジスティックスの輸出業務に導入し、6 月からの試行運用を経て、7 月より本格運用を開始したことをお知らせします。これにより、現場業務の標準化と大幅な効率化、顧客対応の迅速化を実現します。

エムオーエアロジスティックスは、商船三井ロジスティクスグループの国内オペレーションの中核を担っており、AEO 認定※² に基づく高い法令遵守体制を強みに、航空・海上の輸出入通関、倉庫物流管理、輸入混載など国際物流サービスを一貫して提供しています。フューチャーアーキテクトは様々な業界の経営と AI をデザインし、戦略立案から実装までを手掛けるコンサルティングファームです。物流領域においては業務知見と最新技術に精通した専門チームがお客様の物流改革と DX を多面的に支援しています。

本プロジェクトでは、エムオーエアロジスティックスの成田ロジスティクスセンターにおける航空貨物の輸出業務に対し「Future EdgeAI」を導入し、現場でのケースマーク※³ 情報の読み取りからシステム登録に至るフローをデジタル化しました。

これまで同拠点では、貨物に貼り付けられたケースマークや貨物サイズなどを帳票に手書きし、その内容を手入力でシステムに登録していました。しかし、ケースマークに記載された多種多様な情報を正確に読み取るには専門知識が必要なことから、特定の作業員へ業務が集中しており、属人化の解消が課題となっていました。また、業務効率を高めるために、データ登録におけるタイムラグの解消をはじめ、作業者による情報入力のばらつきを解消することによる検索性の向上や、営業部門を介した荷主企業への入荷通知を早期化するための迅速な情報連携の手法も求められていました。

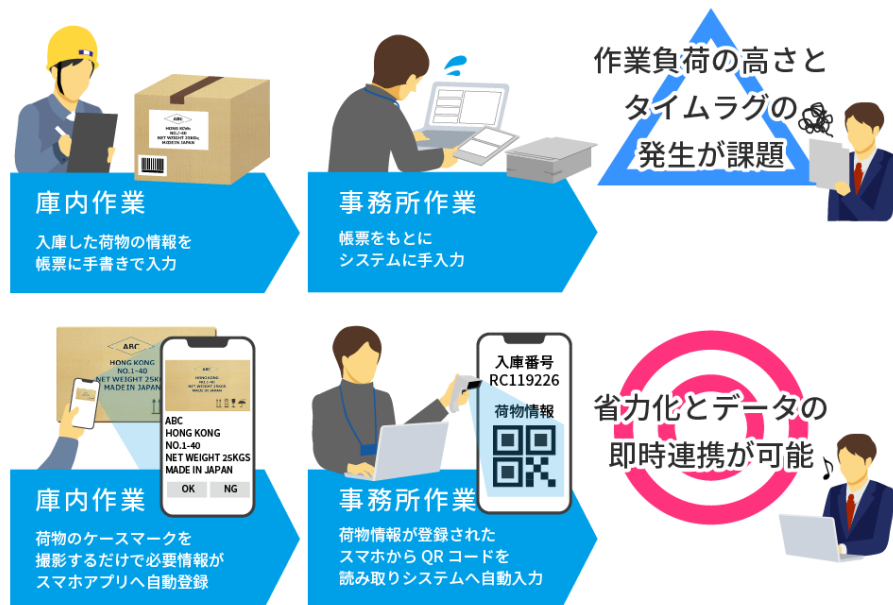
今回の「Future EdgeAI」の導入により、倉庫作業員がケースマークをスマートフォンで撮影するだけで、必要な情報を高精度に読み取り自動入力する仕組みを、既存システムに改修を加えることなく 3 ヶ月という短期間で構築しました。これにより、誰もが正確かつ迅速に処理できる業務の標準化が実現しました。現場のデータが即時にシステムへ反映され、入力方式が自動で統一されるようになったことで、営業部門は荷物の状況をリアルタイムな把握が可能になりました。本格導入を開始した 6 月に行った 1 ヶ月間の効果測定では、月間約 110 時間の作業時間削減が確認され、大幅な業務効率化とサービス品質の向上が実証されました。

両社は今後も連携を深め、さらなる業務効率化や生産性の向上、より高品質なロジスティクスサービスの提供を図るとともに、物流業界が抱える労働力不足などの社会課題解決に貢献します。

※¹ EdgeAI とは、AI を搭載した端末が収集したデータを端末内で処理し、推論・学習を行うことで、瞬時に判断を出す技術。「Future EdgeAI」はフューチャー株式会社の登録商標。

※² 高い業務遂行能力を有し、貨物のセキュリティ管理とコンプライアンス(法令遵守)の体制が十分に整備された事業者として、財務省から付与される認定。

※³ ケースマークとは、貨物を識別できるよう外装に貼付けされた記号・番号や文字のこと。貨物の内容、取扱い上の注意点、重量、仕向地等、多くの情報を含む。シッピングマークともいう。



OCR ソリューション「Future EdgeAI」とは

スマートフォンやハンディーターミナルなどの携帯端末で書類や伝票を撮影するだけで、その場で即時にデータ化します。漢字、ひらがな、カナ、英数字など様々なフォントの活字に加え、手書き日本語も高精度で読み取ることができ、画像補正技術により印刷面に擦れ・ノイズ、水濡れ、折れ・曲がりのあるバーコードや文字も読み取り可能です。現場での業務運用に対応した様々な機能の適用や、個別のカスタマイズも可能です。

URL: <https://future-edge-ai.biz>

■エムオーエアロジスティックス株式会社

代表者: 代表取締役社長 野村 一彦

設立: 1968 年 9 月 1 日

業容: 商船三井ロジスティクスグループの国内オペレーションを担う中核会社として、航空・海上の輸出入通関、倉庫物流管理、輸入混載等のサービスを提供。

URL: <https://www.moal.co.jp/index.html>

■フューチャーアーキテクト株式会社

代表者: 代表取締役社長 齋藤 洋平

設立: 2016 年 4 月 1 日 (フューチャー株式会社より IT コンサルティング事業を継承)

業容: 経営と IT をデザインしながらお客様の DX を推進。最新のテクノロジーをベースにグランドデザインからシステム開発、運用保守までを一気通貫で担えることを強みに IT コンサルティングサービスを提供。

URL: <https://www.future.co.jp/architect>

■本件に関するお客様からのお問合せ先

フューチャーアーキテクト株式会社 流通・製造サービス事業部 金子

お問い合わせフォーム: https://www.future.co.jp/apps/contact/fai/service_solution_entry.php

■本件に関する報道機関からのお問合せ先

エムオーエアロジスティックス株式会社 総務部

TEL : 0476-35-6170 E-mail : MOALjp.narita_accounting@molgroup.com

フューチャー株式会社 広報 : 新出、松本、石井 TEL : 03-5740-5721

お問い合わせフォーム: https://www.future.co.jp/apps/contact/corp/press_interview_entry.php